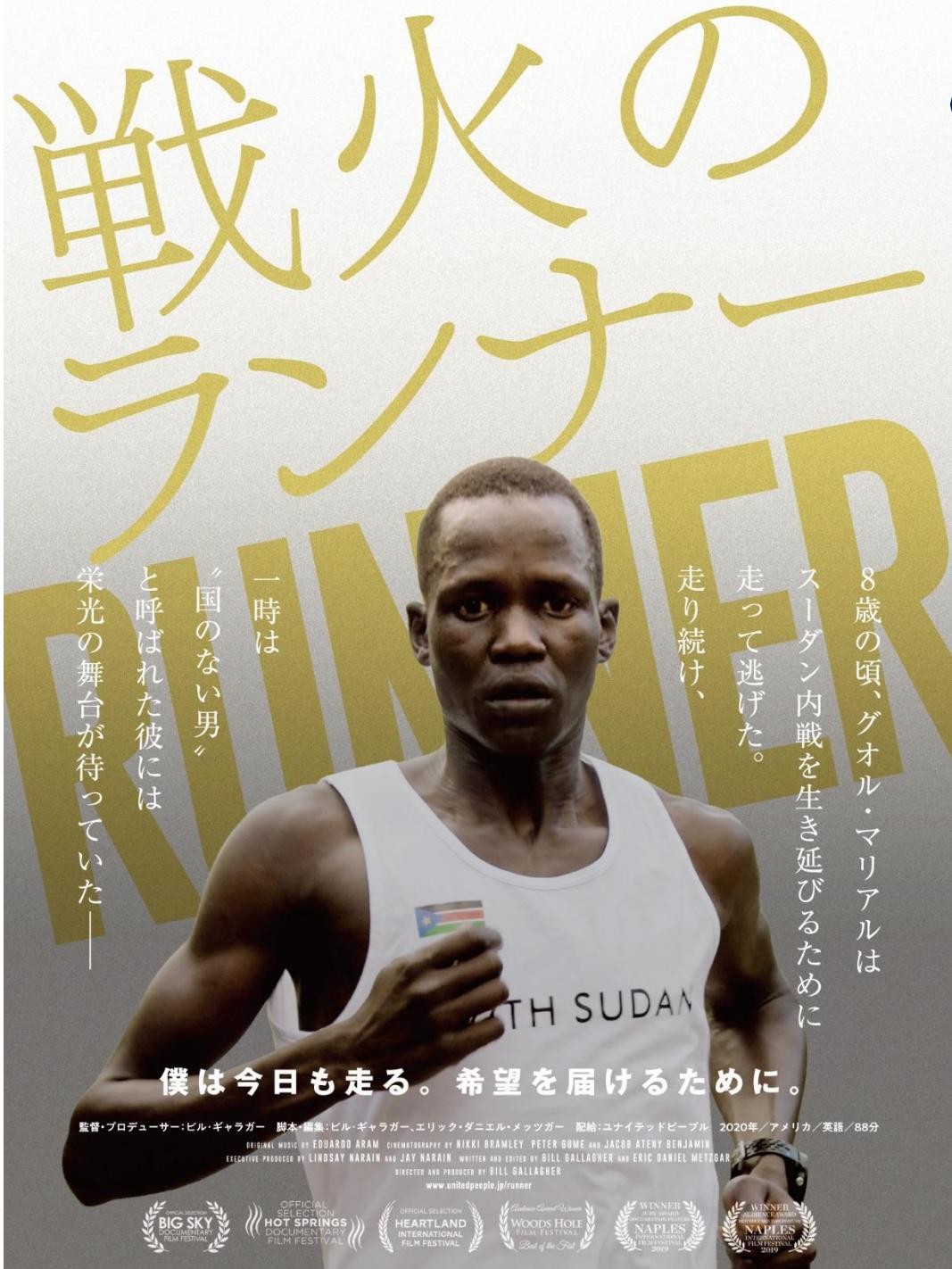


28人の家族が殺され、2度誘拐され奴隸になった。



えんじょい こ う お ん が ん  
縁joy ! KOMINKAN!  
学び・楽しみ・つながりみつけた!

1月 24日(土)  
10時00分  
~11時28分



(2020年/アメリカ/88分)

【参加料】無料 【定員】30人(先着) 【会場】スワンホール

【申込受付】12月23日(火)10時から

※電話、FAX、HP、直接来館にてお申込みください。

【一時保育】1歳半以上就学前の幼児対象。

一人1日350円。講座開催日の10日前までに要申込み。



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS  
2030年に向けた  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

↑HPへはこちらから(携帯電話の機種によって読み込めないことがあります。)

主催・申込み・問合せ

伊丹市立中央公民館(第1・3月曜休館/祝日の場合は翌日)

〒664-0015 伊丹市昆陽池2-1 (スワンホール1階)

Tel:072-784-8000 Fax:072-784-8001 (窓口開設時間 9時~17時30分)

HP: <https://www.city.itami.lg.jp/SOSIKI/EDSHOGAI/KOMINKAN/index.html>



# 力強く感動的な実話に 心をさらわれる!

— ハリウッド・リポーター誌



一歩を踏み出すことが未来を大きく変えるという  
大切なメッセージが胸に刻まれました。

— 高橋尚子（シドニー五輪女子マラソン金メダリスト）

夢をかなえた彼が「走る」ことで伝えるメッセージは、  
難民がただ困難に翻弄される人ではなく、  
自ら生き抜くことを選んだ誇り高い人間であることを  
教えてくれる。

— 長野智子（キャスター）

## 走ることを、諦めない。

### 危険が迫っていたスーダン。

両親は8歳のグオルの命を守るために、泣く泣くたった一人で旅立たせる。

やがてアメリカに難民として到着した彼はマラソン選手となり、奇跡を体現していく——。

難民からオリンピック選手になったグオルは次世代のためにも走り続ける。

戦争の続くスーダンはどこもが戦場で、子どもはさらわれ、家は燃やされていた。8歳のグオル・マリアルの命を守るために、両親は苦悩の末、彼を村からたった一人で逃がすこととした。戦場をさまよい歩くグオルはやがて武装勢力に捕まってしまう。“逃げよう”。彼は夜明け前、走って逃げることに成功する。幸運にも難民キャンプで保護された彼は、アメリカへ移民するチケットを手にする。“もう逃げなくていい”。高校に入学した彼は、走ると他を圧倒。初めて走ったマラソンで2012年ロンドン五輪出場資格を得る。まるで走ることが彼の運命だったかのように——。

しかし、南スーダンが建国されたのはロンドン五輪開催の一年前。国内オリンピック委員会がなく、代表する国がなかった。出場が危ぶまれたが奇跡が起こる。国際オリンピック委員会（IOC）が“國のない男”といわれた彼の個人参加選手としての出場を認めたのだ。そして彼は、祖国南スーダンの人々の期待を背負い走り、完走する。不屈の精神で走り続けるグオルの人生に感動せずにはいられない感涙のドキュメンタリー。

“この奇跡を僕だけではなく君たちにも経験してほしい”



祖国のために、不屈の精神で走り続けるグオルの人生に感動せずにはいられない

監督・プロデューサー:ビル・ギャラガー

脚本・編集:ビル・ギャラガー、エリック・ダニエル・メッツガー

配給:ユナイテッドピープル(2020年／アメリカ／英語／88分／カラー／16:9)

© Bill Gallagher



映画の上映会主催者募集!  
詳しくは [cinemo.info](http://cinemo.info) へ  
お問合せ [film@unitedpeople.jp](mailto:film@unitedpeople.jp)

「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称

で、2015年9月に国連

サミットで採択されました。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。「SDGs 映画会」では、その目標をテーマとした映画の上映会を開催しています。



友だち募集中

### ご来館に際してのお願い

○体調不良の症状がある方は、来館をご遠慮いただきますようお願いいたします。咳工チケットをお守りください。

○講座開始1時間前に伊丹市で各警報が発令されている場合、中止となります。

☆講座の参加について、介助等の配慮が必要な方はお気軽にご相談ください。